



佐渡市



生物 **多** 様性 佐渡 戦略



平成24年6月

は じ め に



生物多様性とは、人間も含め、同じ種類の生きものの
中にもそれぞれの個性があったり、地域に特有の様々な
種類の生きものがいたり、さらに、森林や湿原、河川、
海岸など様々なタイプの自然があることをいいます。こ
の生物の“多様さ”は、人類の生存や存続の基盤となり、
また、地域固有の財産として地域独自の文化の多様性を
も支えています。

佐渡市においても、この生物多様性の重要性を認識し、
トキの野生復帰や、朱鷺と暮らす郷づくり認証制度、生
きもの調査の日宣言、生物多様性条約第10回締約国会
議(COP10)への参加、GIAHS(世界農業遺産)
認定など佐渡の特性を活かした様々な取り組みを進めてきました。

おかげをもちまして、トキの野生復帰においては、今年4月に野生では36年
ぶりとなるトキのひなが誕生し、5月には38年ぶりの巣立ちを迎え、佐渡の大
空へ羽ばたくという大変喜ばしいニュースを全国に発信することができました。

トキの野生での繁殖成功は、生きものと共生する島づくりの成果でもあり、
SATOYAMAイニシアティブが提唱する農林水産業を含む社会経済活動の維
持発展を通じた「自然共生社会」の実現への一歩でもあります。この一歩を确实
に進め、人、生きもの、自然が豊かに暮らせる島づくりこそがGIAHS認定を
受けた佐渡の進むべき道であります。

この道標として、佐渡の今後のさらなる生物多様性保全・利用の方向性・将来
像を示し、市民・地域・行政等の担う役割や施策等を明確化するため、「トキと暮
らす島 生物多様性佐渡戦略」を策定いたしました。

本戦略では、「生物多様性が育む佐渡の豊かな自然と暮らしを保全・再生する」
を基本理念とし、「佐渡でふれあういのちのつながり～人とトキが暮らす島を孫の
世代へ～」をキャッチコピーとして掲げ、将来にわたって佐渡の生物多様性の恵
みを享受しながら、活力ある経済・社会活動を実践することにより地域が活性化し、
人と自然が共生し、豊かな自然と文化が守り育まれる社会の実現を、目指してい
きます。

今後、本戦略に基づき、市民・地域等と一体となって、持続可能な生物多様性
の保全に関するさまざまな施策の推進を図り、市の活性化に努めてまいりますの
で、一層の御理解、御協力をお願い申し上げます。

平成24年6月

佐渡市長 甲斐元也

目 次

第1章 戦略の目的と位置づけ

1 - 1	生物多様性とは	1
1 - 2	生物多様性の重要性	5
1 - 3	生物多様性の危機	8
1 - 4	生物多様性保全の国内外の動き	11
1 - 5	生物多様性保全の佐渡市の動き	13
1 - 6	戦略策定の目的と位置づけ	20

第2章 佐渡における生物多様性の現状と課題

2 - 1	自然環境の概要	21
2 - 2	社会環境の概要	36
2 - 3	自然環境の現状と課題	48
2 - 4	社会環境の現状と課題	61
2 - 5	地域別の生物多様性の現状と課題	65

第3章 生物多様性戦略の目標と施策

3 - 1	基本理念と目標	74
3 - 2	基本目標の実現に向けた施策の展開方向	78
3 - 3	生物多様性戦略に関わる数値目標	101
3 - 4	生物多様性戦略に基づく佐渡の将来イメージ	102

第4章 生物多様性戦略の重点施策

4 - 1	地域別の生物多様性戦略の重点施策	103
4 - 2	生物多様性戦略の推進体制の構築	116

参考資料	119
------	-----